

今回はとりわけ多数の応募があり、様々な方から広く作品を寄せていただいた。そのため審査は大変だったが、多くの刺激を受け、学ばせていただいたと感謝している。提案部門金賞は、ガラスの透明さ、明るさ、さわやかさが水際の風景に巧みにつながり、そのイメージの表現も的確で、初めから突出して私の目をとらえた。作品例部門金賞は地下空間の利用という今日的で身近な問題について、技術的にも造形的にも見事な解答を示しており、建築をつくるすばらしさを実感した。ガラスという素材は、建築にとつて一番身近で本質的な素材であるだけに、新たにとらえ直すのはむずかしく大きなチャレンジでもある。この審査を通して、これからの建築空間をつくる新しい手がかりが得られたことをうれしく思う。

香山壽夫

(東京大学名誉教授、明治大学教授)



提案部門は都市への考え方をガラスブロックでどう表現するかというもので、都市の中に隠れている、あるいは隠されているものの可視化をめざす傾向の作品が目立った。金賞は時間の変化を、銀賞は暗渠を、銅賞は都市のインフラストラクチャを可視化しようとする提案であった。全体を通して都市に対するペシミスティックな感情が感じられ、我々が現在どんな時代を生きているのか、改めて思い知らされた気がしている。作品例部門では、ガラスブロックという素材が内・外部空間の関係をコントロールするものであるという点を忘れていた例が多いのではないかと印象を受けたが、金賞はガラスブロック以外の素材では代替できない空間を創出し、素材本来の資質を見据えた説得力のある案であった。

岸和郎

(京都市芸繊維大学助教授)



提案部門では今日の都市環境の問題に対する意欲的な提案が数多くあり、陰湿になりがちな高速道路下の空間の再生や地下空間に配慮した対応が多かった。ガラスブロックの様々なプロダクトデザインも魅力的であった。金、銀、銅賞作品は、いずれも人々や風景の気配を感じさせる都市の様々な際のデザインを巧みに表現するものであった。佳作も含めて、これからの都市空間づくりへの刺激となる案が多く見受けられた。作品例部門はガラスブロックの持つ特性を巧みに生かした作品が多かった。環境照明としての提案に効果を生かしているものがあった。金賞は都市型住居のこれからの方向を示唆しているといえる。銀賞は単純で明快な形態と、オーソドックスな構成を評価した。

針生承一

(針生承一建築研究所代表)



ガラスブロックはポピュラーではあるが、なお新鮮な素材である。提案部門は単なる建材としての魅力的な使用方法以上のものが問われたが、作品はいずれも力作で、楽しく審査させていただいた。金賞はクリスタルな人工の海辺をつくり出すように、魅力的だ。佳作にも金賞と同等以上の興味を引かれるものや、可能性を感じる作品が多く、勉強になった。作品例部門では、金賞の壮快感が群を抜いており、新鮮である。銀賞も単純な構成ながら素材の魅力をうまく生かした、スカッと使った使い方が成功している。思いきりのよい使い方がガラスブロックの美しさをより引き出すことを実感した。銅賞は、こうした質の高い設計の公園に触れられる市民をうらやましく思うような作品である。

古谷誠章

(早稲田大学教授)



提案部門は概して、建物の部位として足の下にガラスブロックが使われている提案が多かった。また現在あまり美しくない場所、見えない場所、使われていない空間などを変えたい案も多く見られ、ガラスブロックの透光性、反射性を利用して、その他、都市のフアンチャー、シンボル、動線、情報装置、緑化装置などの提案があり、実現性に乏しいが、面白いものが多くあった。作品例部門は現実の世界であるから、足の下にガラスブロックを使うことは少ないが、金賞はその大胆な使い方がすばらしい。銅賞は、公共空間での照明装置としてのガラスブロック箱を評価したい。佳作では、通常なら光とは関係ないような場所に光を取り込んでいる作品がいくつか見られた。

八木幸二

(東京工業大学教授)



おかげさまで、第四回空間デザイン・コンペティションを無事終えることができました。審査委員の先生方、ご後援、ご協力いただいた多くの方々に深く感謝いたしております。作品例部門には斬新なデザインや用途の作品、特に住宅への採用例が多かったように思います。ガラスブロックの住宅への新しい取組みが進んでいることに心強く思った次第です。提案部門では、ガラスブロックの機能性やデザイン性をフルに生かした夢の多い作品に接し、建築材料としてまだまだ可能性のある製品であると自信を持ちました。特に、地下や高速道路などの都市空間に潤いを与えるガラスブロックの使い方についての多くの提案は十分に検討させていただき、実現できるように尽力してまいります。

戸谷文隆

(日本電気硝子株式会社取締役建材事業本部長)

